

# 【掲載記事】160228盛岡タイムス 「本読めばそこはふるさと」

(1) 日刊 16130号 (昭和44年12月1日第三種郵便物認可)



本を通してグループ内で交流する参加者ら

## 本読めばそこはふるさと

### 聖石町でコミュニティネット まちライブラリー講演会

まちライブラリー講演会&ワークショップ(主催・コミュニティネット)は27日、聖石町上町南のしずく館で開かれた。本を通じた交流拠点「まちライブラリー」の提唱者の磯井純充さん(57)を講師に実施。本による交流、講演やワークショップを行い、本を通じたコミュニティづくりについて学んだ。

町内外から約40人が参加した。磯井さんは2011年にまちライブラリーを提唱。現在では全国270カ所に設立されている。専門誌や漫画など個人の趣味を集めた場所、カフェや音楽を取り入れた場所など、形は多種多様という。

磯井さんは「きょうのよつしたくさんの人が集まって本を出し合っても同じものがないくらい、本は多様。そして、それを持つている人の考えていること、これからやることとして、人柄や考えが垣間見える」と本が人となりを話した。

ワークショップでは、参加者が持ち寄った本を紹介しながら交流。その後、同町でのまちライブラリーの活用方法などを話し合い、可能性を模索した。

同町の平澤剛さん(35)は「まちライブラリーは一方的に行われる取り組みではなく、一般の住民がやってみたくて思ったことが形になっていることを感じた。本が、その活動に参加するための、チケットのような存在になっているのも面白いと話していた。